

～創ろう 暮らしやすい にぎわいのある いしのもり～

## 第3次石森地域づくり行動計画書

計画期間 令和7年度～11年度



にぎわいのある石森（石森コミュニティ祭）

石森コミュニティ運営協議会  
石森地域づくり行動計画策定委員会

# 目 次

## はじめに

石森コミュニティ運営協議会 会長	
石森地域づくり行動計画策定委員会 委員長	1

## 第1章 計画策定の背景

1 計画策定の背景と目的	2
2 計画期間	2
3 計画策定の体制	2
4 石森地区の概要・現状・人口推移・課題	3

## 第2章 計画策定に関する活動経過

1 活動の経過	8
2 計画策定委員会委員名簿	9

## 第3章 第3次石森地域づくり行動計画 10

## はじめに



現在、私たちを取り巻く社会環境は、多くの地域で人口が減少し、高齢化が進んでいることから地域の活力が低下し、地域における社会サービスの維持が難しくなってきております。

石森コミュニティ運営協議会では平成 26 年度に地域づくりの最初の5ヵ年計画づくりでスタートし、翌 27 年度からの5年間（第1次）を実行期間としました。

第1次の成果と反省を基に、令和2年度からの5年間（第2次）は充実期間として取り組む計画でございましたが、コロナ禍の影響であらゆる活動の自粛、変更、中止等を余儀なくされました。

しかし、そのような状況下であっても、「石森地域づくり実践プロジェクト」の委員の皆様の努力と地区民の皆様のご理解とご協力により、活力のある地域づくりに大きな成果を上げることができ、嬉しく思っております。

令和7年度から11年度までの5年間（第3次）も、「創ろう 暮らしやすい にぎわいのある いしのもり」をキャッチフレーズとして、石森を元気にするまちづくりを目指してまいりますので、更なるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本事業の推進に当たりご支援を賜りました、登米市まちづくり推進部市民協働課をはじめ、ご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

令和7年3月

石森コミュニティ運営協議会会長  
石森地域づくり行動計画策定委員会  
委員長 佐々木 信一

# 第1章 計画策定の背景

## 1 計画策定の背景と目的

石森地域づくり行動計画は、石森全体を「より居心地のよい、住みやすい地域にすること」を目指して、平成27年3月に第1次計画（平成27年度～平成31年度）を策定し、「創ろう 暮らしやすい にぎわいのある いしのもり」を地域づくりのキャッチフレーズに掲げ、5年間にわたり地域の様々な課題の解決に取り組み、地域づくりを進めてきました。

その後、平成31年3月に、地域づくりを継続するため第1次計画の見直しを行い、第2次計画（令和2年度～令和6年度）を策定し、さらに5年間、地域づくりを推進してきました。

今回、過去10年間の地域づくりの取組を検証しながら、残された課題や新たな課題の解決を図り、「暮らしやすい にぎわいのある いしのもり」の実現に向けて、地域づくりをより一層進めるため、第3次の行動計画を策定するものです。

## 2 計画期間

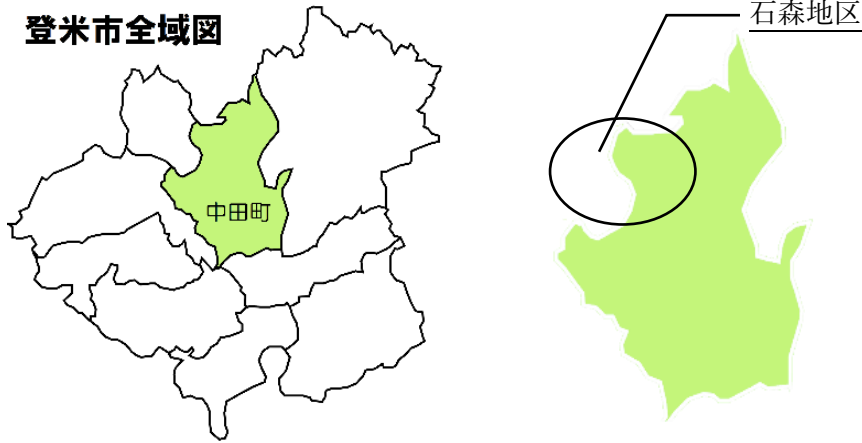
第3次石森地域づくり行動計画の策定は、令和6年度です。

計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間です。

## 3 計画策定の体制

第3次石森地域づくり行動計画は、石森地域づくり行動計画策定委員会委員36人が中心となって策定しました。

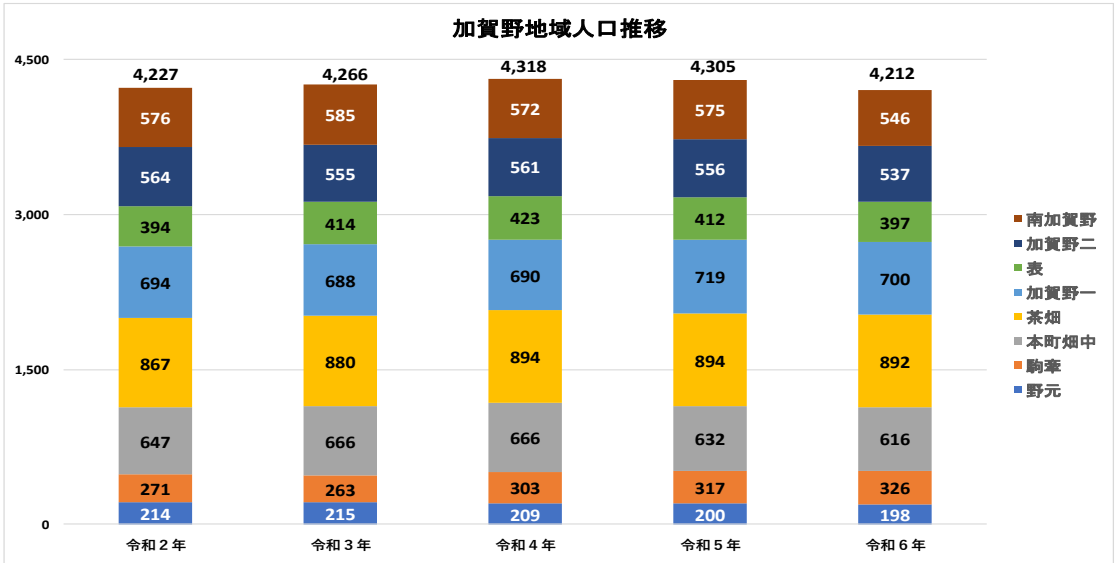
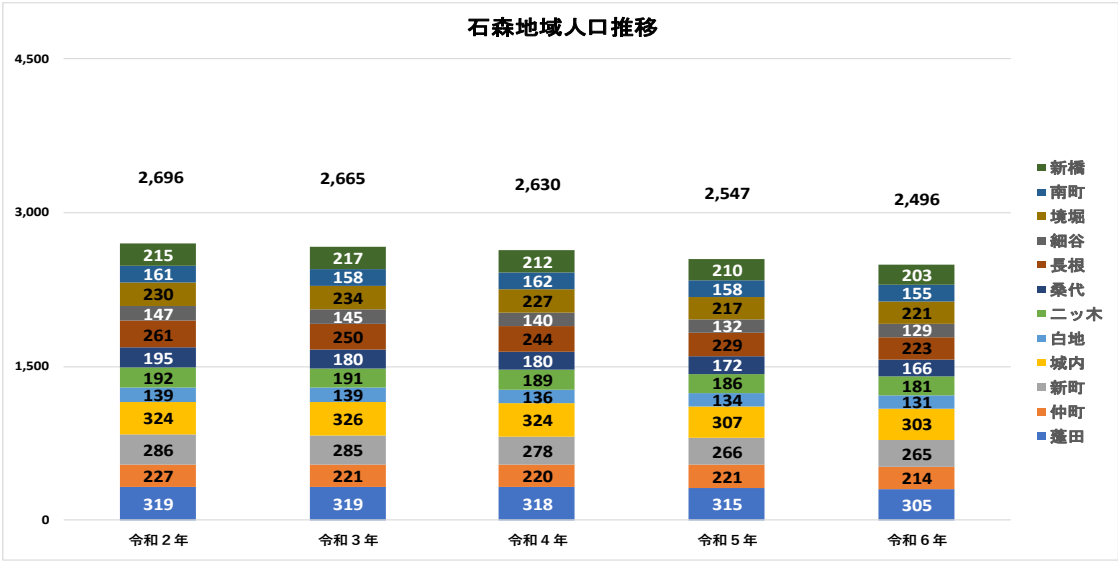
#### 4 石森地区の概要・現状・人口推移・課題

地域の概要	
地 域 名	登米市中田町石森地区
位 置 図	<div>  <p>登米市全域図</p> <p>中田町</p> <p>石森地区</p> </div> <p>総面積 17.23 km<sup>2</sup>  地形は南北に長く、約 8km、東西に約 4.5km のほぼ平坦肥沃な耕土を形成</p>
運 営 組 織	団体名：石森コミュニティ運営協議会 事務局：登米市中田町石森字茶畑 7 番地 石森ふれあいセンター内 TEL：0220-34-2341 登米市教育情報サイト <a href="https://tome-c.ed.jp/cmc/fschedule/ishinomori-cc">https://tome-c.ed.jp/cmc/fschedule/ishinomori-cc</a>
地 域 構 成	行政区数：20 蓬田、野元、駒牽、本町畑中、仲町、新町、城内、白地、二ツ木、桑代 長根、細谷、茶畑、加賀野一、境堀、表、加賀野二、南加賀野、南町、新橋
沿 革	<p>白地行政区内の「白地横穴墓群」の発掘調査で、およそ8世紀の奈良時代のものであると思われる遺跡が確認されましたが、その年代には、すでに石森の集落が形成されていたものと推測されます。</p> <p>藩政時代には、城下町として栄えた密居集落が石森地内にあり、笠原城跡及び外濠などの旧跡により往時を偲ばせます。</p> <p>明治22年、町村制の施行によって石森村と加賀野村を合わせて石森村になり、明治45年の町制施行により石森町となりました。</p> <p>昭和31年4月1日、中田沼水系町村として絆の固い石森町、宝江村、上沼村及び浅水村の4力町村の合併が成立し、中田町として発足しました。</p> <p>平成17年4月1日、登米郡8町と津山町の9町が合併して「登米市」が誕生し、現在に至っています。</p>

石森地域		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
蓬田	人口	319	319	318	315	305
	世帯数	104	107	104	107	100
仲町	人口	227	221	220	221	214
	世帯数	93	90	91	89	89
新町	人口	286	285	278	266	265
	世帯数	94	94	93	93	92
城内	人口	324	326	324	307	303
	世帯数	119	121	121	118	119
白地	人口	139	139	136	134	131
	世帯数	43	43	42	41	42
ニッ木	人口	192	191	189	186	181
	世帯数	57	55	55	54	53
桑代	人口	195	180	180	172	166
	世帯数	51	51	51	51	50
長根	人口	261	250	244	229	223
	世帯数	90	85	85	73	77
細谷	人口	147	145	140	132	129
	世帯数	47	47	47	48	47
境堀	人口	230	234	227	217	221
	世帯数	84	85	84	82	87
南町	人口	161	158	162	158	155
	世帯数	52	53	53	53	55
新橋	人口	215	217	212	210	203
	世帯数	73	72	74	74	73
計	人口	2,696	2,665	2,630	2,547	2,496
	世帯数	907	903	900	883	884

加賀野地域		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
野元	人口	214	215	209	200	198
	世帯数	74	74	72	70	72
駒牽	人口	271	263	303	317	326
	世帯数	121	110	126	131	141
本町畑中	人口	647	666	666	632	616
	世帯数	212	220	225	216	217
茶畑	人口	867	880	894	894	892
	世帯数	269	272	283	287	285
加賀野一	人口	694	688	690	719	700
	世帯数	240	240	250	264	256
表	人口	394	414	423	412	397
	世帯数	146	151	155	157	155
加賀野二	人口	564	555	561	556	537
	世帯数	178	178	183	184	178
南加賀野	人口	576	585	572	575	546
	世帯数	224	228	221	224	215
計	人口	4,227	4,266	4,318	4,305	4,212
	世帯数	1,464	1,473	1,515	1,533	1,519
全体合計	人口	6,923	6,931	6,948	6,852	6,708
	世帯数	2,371	2,376	2,415	2,416	2,403

地域内人口データ



## 石森地区 これまで20年間の人口推移とこれから20年間の予測値

	国勢調査値					予測値			
石森地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口計	6,356	6,467	6,362	6,683	6,772	6,613	6,499	6,368	6,191
0～19歳	1,157	1,442	1,377	1,401	1,308	1,183	1,051	944	856
20～39歳	1,385	1,457	1,441	1,406	1,338	1,233	1,219	1,233	1,154
40～64歳	2,078	2,132	2,163	2,290	2,309	2,311	2,308	2,310	2,263
65歳以上	1,376	1,436	1,377	1,566	1,776	1,886	1,922	1,881	1,918
高齢化率	21.6%	22.2%	21.7%	23.5%	26.4%	28.5%	29.6%	29.5%	31.0%
65～79歳	1,098	1,045	836	1,009	1,201	1,392	1,360	1,203	1,182
80歳以上	278	391	541	557	575	494	562	678	736

予測値の計算式参照：IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】

## 石森地区 これまで20年間の世帯構成の推移とこれから20年間の予測値

	国勢調査値					予測値			
石森地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
一般世帯数	1,718	1,837	1,932	2,157	2,349	2,396	2,429	2,424	2,386
18歳未満同居世帯	753	740	711	732	684	631	566	513	470
構成比	43.8%	40.3%	36.8%	33.9%	29.1%	26.5%	23.5%	21.4%	19.4%
3世帯同居世帯	596	574	504	422	353	294	254	225	204
構成比	34.7%	31.2%	26.1%	19.6%	15.0%	12.3%	10.4%	9.3%	8.5%
65歳以上単独世帯	82	88	115	148	179	198	207	206	212
65歳以上夫婦世帯	91	85	80	107	155	178	194	197	205
65歳以上世帯計	173	173	195	255	334	376	401	403	417
構成比	10.1%	9.4%	10.1%	11.8%	14.2%	15.7%	16.5%	16.6%	17.5%
単独世帯(全世代)	208	270	331	419	523	564	597	610	610
構成比	12.1%	14.7%	17.1%	19.4%	22.3%	23.5%	24.6%	25.2%	25.6%
一世帯当たり人数	3.70	3.52	3.29	3.10	2.87	2.76	2.67	2.63	2.59

予測値の計算式参照：IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】



地域内の個別状況				
No.	項 目	現 状	全 体	
			特 徴 (良い所)	課 題 (困っていることなど)
1	地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県の北東部、登米市のほぼ中央から上方に位置し、北は、岩手県一関市花泉町に接している。地形は、南北に長く、約8km、東西に約4.5kmのほぼ平坦肥沃な耕土を形成。宮城米「ササニシギ」「ひとめぼれ」の主産地として県内有数な穀倉地帯の一角を占めている。なお、石森の総面積は、17.23km<sup>2</sup>で、登米市全体の3.2%を占めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きく石森地域と加賀野地域がある。</li> <li>比較的災害が少ない地域である。</li> <li>肥沃な土地で農地が広く、穀倉地帯である。(石森)</li> <li>商業施設が充実している。(加賀野)</li> <li>人口が多く、活気がある。(加賀野)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によって生活環境に差がある。</li> <li>商業施設は加賀野に集中していて、片寄がある。</li> <li>人口減少と高齢化が進んでいる。(石森)</li> </ul>
2	主な施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>石森ふれあいセンター</li> <li>石森小学校</li> <li>加賀野小学校</li> <li>中田児童館</li> <li>石ノ森章太郎ふるさと記念館</li> <li>石ノ森章太郎氏の生家</li> <li>石森郵便局</li> <li>加賀野郵便局</li> <li>みやぎ登米農業協同組合本店</li> <li>みやぎ登米農業協同組合東部なかだ基幹支店</li> <li>北上川沿岸中田地区土地改良区</li> <li>産直なかだ愛菜館</li> <li>前田公園</li> <li>西田公園</li> <li>加賀野公園</li> <li>なかよし公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に合った施設や教育機関が充実している。</li> <li>みやぎ登米農協の本店があり、便利である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者、女性が利用する施設が少ない。</li> <li>気軽に利用できる施設がない。</li> </ul>
3	地域内の自治施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政区集会所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政区以外の人も使用することができる。</li> <li>ミニデイ開催等で利用率が高い。</li> <li>ふれあいセンターは行政区の会議や行事で使用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化による維持管理費の確保が必要である。</li> <li>集会所がない行政区もある。</li> </ul>
4	指定避難所安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>石森ふれあいセンター</li> <li>石森小学校</li> <li>加賀野小学校</li> <li>各行政区自主防災組織</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所が近くにあり、安心である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の一人暮らしが多いため、指定避難所までの移動が懸念される。</li> <li>備蓄倉庫並びに食料の備蓄がない。</li> <li>自主防災活動に対する住民の意識が不足している。</li> <li>平坦地のため大雨などの時は、排水困難等により冠水してしまう。</li> <li>夏川氾濫の際の洪水対策。</li> </ul>
5	連携している団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織構成団体</li> <li>NPO法人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体と連携が図られており、運営に協力的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化に伴い、団体の運営が厳しくなりつつある。</li> <li>つながりの維持が難しい。</li> </ul>
6	地域環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代の住人が多く活気がある。(加賀野)</li> <li>新規の入居者が多い。(加賀野)</li> <li>新興住宅地である。(加賀野)</li> <li>独居世帯が増加している。(石森)</li> <li>空き家が増加している。(石森)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治安が良い。</li> <li>病院も商業施設も交通面も充実している。(加賀野)</li> <li>思いやりや助け合いがある。(石森)</li> <li>高齢化しているが、隣近所の交流がある。(石森)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域役員のなり手不足。</li> <li>空き家条例の充実により、危険家屋などの撤去を含め、安全対策が必要である。</li> <li>国道沿いなので騒音の問題がある。(加賀野)</li> <li>都会化によるコミュニケーションの希薄化。(加賀野)</li> <li>空き家や独居世帯、高齢化率の増加。(石森)</li> <li>街灯が少ない。(石森)</li> <li>商店は衰退(石森)</li> <li>工場等の働く場所が少ない。</li> <li>観光客が少ない。</li> </ul>



地域内の個別状況				
No.	項目	現 状	全 体	
			特 徴 (良い所)	課 題 (困っていることなど)
7	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物の「若林のみみじ」がある。</li> <li>・石森八景(古城、二つ橋の蛸、神明社の桜、石神社の立石、安永寺晩鐘、古塚山夏月、十萬騎谷地、白雉山紅葉)</li> <li>・姥沼は、夏は蓮の花が咲き誇り、冬は白鳥の飛来地である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦で、四季の変化が見られて美しい。</li> <li>・自然が豊かで、田舎暮らしをするには敵している。(石森)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の増加・拡大による原野化</li> </ul>
8	地域交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民バス</li> <li>・市民バス</li> <li>・タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通は、200円バスでお得感がある。(R6.4.1～)</li> <li>・石森地域内を運行する『1区間内無料、乗り降り自由の住民バス』と『区間内乗り降り毎に 200円の市民バス』がある。</li> <li>・地区内にタクシー会社が1社ある。</li> <li>・公共交通が比較的充実している。(加賀野)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納者のための足の確保が不十分</li> <li>・公共交通は、国道346号沿いにだけ集中しているため石森地域は不便。高齢者の免許証返納が進まない原因でもある。</li> <li>・歩道の形態が時代に合わない。段差や街路樹など歩道の利用を妨げる物があり、小型モビリティの普及の妨げとなっている。</li> <li>・住民バスは運行が限られており、自家用車がないと買い物や用足しは困難。公共交通は利便性が悪いため、充実が必要(石森)</li> <li>・移動手段に困る。(石森)</li> </ul>
9	歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石森歴史の散歩道(50のスポットを紹介)</li> <li>・石ノ森章太郎のふるさとおさんぽMAP</li> <li>・石森ふるさとを語る会</li> <li>・石森打ちはやし保存会</li> <li>・加賀野神楽保存会</li> <li>・石ノ森章太郎氏作品のキャラクターモニュメントが記念館周辺に6体(石森)</li> <li>・土地区画整理事業記念モニュメント「浮石」(加賀野)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社仏閣、史跡、文化財、人物、自然が多くある。</li> <li>・平坦で、各名所の散策がしやすい。</li> <li>・石森ふるさとを語る会の活動が、地域の歴史や文化などの伝承に貢献している。</li> <li>・郷土芸能が伝承されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭事を担う住民不足による簡素化、中止、廃止など</li> <li>・郷土芸能などの伝承活動の担い手や後継者不足。</li> </ul>
10	特産品(名物・名産物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銘菓がある。</li> <li>・ブランドきゅうりがある。</li> <li>・米(ササニシキやひとめぼれ等)、野菜、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美味しい米を生産している</li> <li>・ブランド牛(仙台牛)を生産している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の高齢化と担い手不足並びに農家の後継者不足。</li> <li>・物価上昇による生産コスト増による収入減に伴い就農者が減少している。(農業所得向上が必須)</li> </ul>

## 第2章 計画策定に関する活動経過

### 1 活動の経過

月日	会議等	内 容
令和6年 2月15日(木)	地域づくり意見交換会 参加人数（35名）	第3次地域づくり行動計画の策定に当たって意見交換 ・第2次地域づくり実践プロジェクトの活動報告 ・計画策定に関する基本的な方針について ・今後のスケジュールについて
4月27日(土)	第1回策定委員会 参加人数（37名）	第3次地域づくり行動計画策定に当たっての体制等について協議 ・策定委員会の設置及び委員長・副委員長の選出 ・計画策定スケジュールの決定 ・作業部会の編成及び各部長・副部長の選出
6月29日(土)	第2回策定委員会 参加人数（33名）	第2次地域づくり行動計画の検証 ・計画に基づく実施事業について、作業部会ごとに検証
8月22日(木)	第3回策定委員会 参加人数（27名）	第3次地域づくり行動計画の内容検討 ・作業部会ごとに具体的な取組内容を検討
10月26日(土)	第4回策定委員会 参加人数（25名）	第3次地域づくり行動計画の内容検討 ・作業部会ごとに具体的な取組内容の精査と着手時期の決定 ・計画書の体裁の検討
令和7年 1月23日(木)	策定委員会役員会 参加人数（10名）	第3次地域づくり行動計画書の素案の作成 ・計画書及び概要版の素案を作成
2月21日(金)	第5回策定委員会 参加人数（30名）	第3次地域づくり行動計画書の最終確認と決定
3月末	第3次地域づくり行動計画書完成	

## 2 第3次石森地域づくり行動計画策定委員会委員名簿

No.	役 職	氏 名	行政区	担当部会
1	委員長	佐々木 信一	南加賀野	活力
2	副委員長	小野寺 裕幸	南町	ふれあい・やすらぎ
3	副委員長	三上 誠志	駒牽	うるおい・ゆとり
4	副委員長	瀬戸 栄典	新町	協働
5	委 員	佐藤 啓	蓬田	うるおい・ゆとり
6	委 員	千葉 悟	野元	協働
7	委 員	千葉 正宏	野元	ふれあい・やすらぎ
8	委 員	遠藤 勝信	駒牽	活力
9	委 員	熊谷 重典	本町畑中	活力
10	委 員	野家 数夫	本町畑中	協働
11	委 員	伊藤 栄	仲町	うるおい・ゆとり
12	委 員	菅原 早苗	仲町	ふれあい・やすらぎ
13	委 員	小野寺 幸徳	城内	ふれあい・やすらぎ
14	委 員	清野 嘉男	城内	協働
15	委 員	菅原 信廣	白地	活力
16	委 員	伊東 正志	白地	ふれあい・やすらぎ
17	委 員	佐藤 正一	二ツ木	協働
18	委 員	菅原 信之	桑代	協働
19	委 員	千葉 恵治	桑代	活力
20	委 員	阿部 天	長根	うるおい・ゆとり
21	委 員	阿部 幹男	長根	ふれあい・やすらぎ
22	委 員	渡邊 義昭	細谷	活力
23	委 員	佐藤 正美	細谷	ふれあい・やすらぎ
24	委 員	皆川 洋	茶畑	協働
25	委 員	斉藤 健一	茶畑	活力
26	委 員	天野 武男	加賀野一	ふれあい・やすらぎ
27	委 員	千葉 治	加賀野一	活力
28	委 員	菅原 通博	境堀	ふれあい・やすらぎ
29	委 員	藤村 孝喜	境堀	うるおい・ゆとり
30	委 員	佐々木 茂光	表	うるおい・ゆとり
31	委 員	千葉 淳子	表	協働
32	委 員	八谷 郁夫	加賀野二	うるおい・ゆとり
33	委 員	佐藤 真由美	南加賀野	活力
34	委 員	石垣 直美	南町	うるおい・ゆとり
35	委 員	千葉 政輝	新橋	協働
36	委 員	阿部 明	新橋	うるおい・ゆとり

# 第3章 第3次石森地域づくり行動計画

## 第3次 石森地域づくり行動計画

～ 創ろう 暮らしやすい にぎわいのある いしのもり ～ 計画期間：令和7年4月～令和12年3月

No.	テーマ	目 標	取 組 む 内 容	実施スケジュール				
				7年	8年	9年	10年	11年
1	安全・安心	安全で安心な住み良い地域づくり	事業名：クリーン模範路づくり 内 容：ごみのポイ捨て多発路線の調査結果を基に、実施箇所を選んで清掃活動を実施する。	○				→
			事業名：交通安全啓発活動 内 容：小学生を対象にした交通安全標語コンクールを実施し、優秀作品を啓発活動に活用する。	○				→
			事業名：高齢者の事故防止の推進 内 容：高齢者の自動車や自転車、シニアカーなどの安全運転講習会、反射材利用の促進などによる事故防止の推進活動	○				→
			事業名：社会体験会 内 容：自然環境を活かしたつり体験や農業体験（野菜、果物等、農作物の収穫や見学）、工場見学など	○				→
			事業名：サブカルチャー体験会 内 容：eスポーツやプラモデル作り、ペブレード、室内サバイバルゲームなどサブカルチャーの体験	○				→
2	仲 間	地域の資源を活かした仲間づくり	事業名：瓢箪（ひょうたん）作り教室 内 容：瓢箪作りと瓢箪を使った工芸品の製作	○				→
			事業名：ドラムサークル 内 容：打楽器を使ったリズム遊び	○				→
			事業名：もちつき&お供えもち作り体験 内 容：臼と杵で餅をつき、ついた餅でお供え餅を作る体験を通して郷土文化の継承	○				→
			事業名：しめ縄作り体験 内 容：お正月に玄関に飾るしめ縄作り体験を通して伝統文化の継承	○				→
			事業名：郷土料理の伝承 内 容：郷土料理を紹介する小冊子を作り、これを活用した料理教室を通して食文化の継承	○				→
3	伝統文化と歴史	伝統的な文化や歴史を学び伝える人づくり	事業名：歴史のバスツアー 内 容：文化財・史跡・神社仏閣などをバスで巡り、郷土の歴史を学習する。	○				→
			事業名：石森健康教室 内 容：健康づくりや介護に関する学習会	○				→
			事業名：老人見守り活動 内 容：一人暮らしの高齢者へブレゼントを贈る、見守りを兼ねた活動	○				→
			事業名：フードドライブ 内 容：家庭で使いきれずに余っている食料品を集めて、生活困窮者を支援する団体に寄付する食品ロスの削減と共助による生活困窮者支援の活動	○				→
			事業名：石森地域づくり活動奨励金交付 内 容：各行政区の地域づくり活動への支援	○				→
4	健康と福祉	健康で長生き、互いに支えあう地域づくり						
5	つながり	笑顔があふれ、にぎわいのある地域づくり						



## これまでの活動の様子



歴史のバスツアー



サブカル体験会



交通安全啓発活動



クリーン模範路づくり



瓢箪作り教室



しめ縄作り体験



もちつき&お供えもち作り体験



ドラムサークル

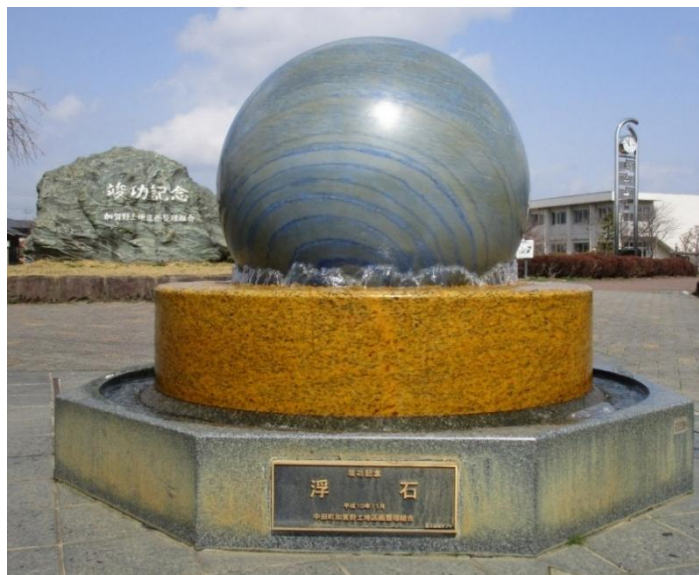




石ノ森章太郎ふるさと記念館



石ノ森章太郎氏の生家



加賀野公園の浮石

第3次 石森地域づくり行動計画書  
 令和7年3月  
 発行 石森コミュニティ運営協議会  
 策定 石森地域づくり行動計画策定委員会  
 事務局 登米市石森ふれあいセンター  
 〒987-0601  
 登米市中田町石森字茶畑7番地  
 電話 0220-34-2341 (FAX 兼)  
 E-mail ishinomori@ec5.technowave.ne.jp